

優良事業場、功労者表彰の受賞者の概要

茨城労働局長

＜優良賞＞

○ 事業場 かぶしきがいしゃ キヤノンオプトロン株式会社

所在地 茨城県結城市鹿窪 1 7 4 4 - 1

業 種 精密機械器具製品製造業

[受賞のポイント]

事業場は、光学結晶及び真空蒸着材料などの開発・製造・販売を行い、メガネやカメラなどにその技術が活用されている。

平成22年12月以降、現在まで無災害を継続中であり、平成27年には茨城労働局長奨励賞を受賞している。

平成25年に中災防のJISHA方式OSHMS（労働安全衛生マネジメントシステム）認定を受けており、継続的な安全衛生管理を進めている。

新規導入設備や新規使用物質へのリスクアセスメントの実施により、危険・有害要因の除去に努めている。特に、機械設備を新規導入する場合のリスクアセスメントは、設計段階から設備の製造メーカーと共同で実施している。

事業場トップの安全衛生方針が明文化され、年間の安全衛生計画の中で重点施策を設定し、リスクアセスメントの日常化による労働災害の撲滅、過去の災害等を想定した実践的な防災活動、交通安全指導に取り組んでいる。

月1回の安全衛生委員会のほか、年2回の委員会による巡視、月1回の部長巡視及び産業医巡視、週1回の課長巡視及び衛生管理者巡視を行い、不安全行動の撲滅、職場環境の改善に取り組んでいる。

計画の進捗は毎月チェックされ、四半期ごとのレビューを行いPDCAサイクルで活動しており、また、これらを各職場の安全衛生掲示板で誰でも閲覧できるようにし、情報の共有化を図っている。

これらの取組の結果、12年以上にわたり無災害を継続していることは、安全確保対策に対する安全衛生の水準が特に良好で、他の模範となるものである。

○ 事業場 とだけんせつかぶしきがいしゃ かんとうしてん 戸田建設株式会社 関東支店じょうそう 常総インターチェンジ しゅうへんちくとちくかくせいりじぎょうぞうせいこうじ 周辺地区土地区画整理事業造成工事

所在地 茨城県常総市三坂新田町 1 6 4 6

業 種 土木工事業

[受賞のポイント]

事業場は、圏央道の常総インターチェンジ周辺の 46ha という広大な敷地の土地区画の整理、造成工事を行うものである。

工期は平成 30 年 9 月から令和 5 年 3 月まで、延べ労働者数は 41,888 人である。

工事着工以来、全工期（33.5 万時間）を通じ、無災害を達成し、令和 5 年 4 月には、厚生労働省労働基準局長の建設事業無災害表彰を受賞している。

全ての作業において、元方事業者が下請事業者と一緒にリスクアセスメント活動を行い、その結果に応じて作業工程を変更している。

現場内各所にカメラを設置し、本社及び事務所の担当者から遠隔で不安全行動等の確認を行い、現場の安全管理者にスマートフォンのチャットを通じて指摘事項や指示事項を送付するシステムが導入されている。

建設機械等との接触防止対策において、3次元設計データを ICT 建設機械に記憶させ、衛星測位システムで操縦を制御するため、作業員による誘導が不要となり、接触等のリスクを軽減している。

また、ヘルメットにセンサーを付けた作業員が危険箇所に接近すると、建設機械が停止する緊急停止システムや、ヘルメット以外の障害物を感知して自動で減速・緊急停止する衝突軽減システム搭載の建設機械を使用するなど、創意工夫した安全管理の取組が活発に実施されていた。

これらの取組の結果として、全工期を無災害で終えたことは、茨城県内で施工する工事の中で、安全確保対策に対する安全衛生の水準が特に良好で、他の模範となるものである。

<奨励賞>

- 事業場 かぶしがいいしやながたにえん 株式会社永谷園フーズ いばらき こうじょう 茨城工場

所在地 茨城県高萩市赤浜字松久保 603-2

業 種 食料品製造業

[受賞のポイント]

事業場は、お茶づけ、ふりかけ、みそ汁の生産中心拠点として、飲食料品の製造・加工を行っている。

事業場では、平成 28 年度に安全確保対策が特に優れているとして、茨城労働局長優良賞を受賞している。（今回は健康確保（健康保持増進等）対策が優れていることによる受賞）

自社製品のお茶づけの素に関する社内検定試験制度を導入しており、合格者は 1

日の休暇（「お茶づけ休暇」）を取得することができる。

毎週金曜日はノー残業DAYの啓発活動を実施している。

産業医との連携を図り、時間外労働が1月45時間を超えた場合には、産業医に情報提供、面接指導できる体制としている。

有給休暇の取得率は、2022年度は96%とほぼ全員が有給休暇を取得しているなど、過重労働対策への取組が優れている。

ストレスチェックを毎年秋に実施し、カウンセリングが必要な場合は産業医と連携して面談を実施している。

職員の満足度を高め、働きやすい工場を作るため、環境改善意見箱を設置して様々な労働者の目線に立った環境改善を実施している。

電話、WEB等で24時間利用できる健康相談窓口を設置し、臨床心理士等の専門家がメンタルヘルスカウンセリングを実施する体制が整っている。

労働者の受動喫煙防止対策として、敷地内を全面禁煙とし、喫煙室を設置し、空間分煙対策を実施している。

快適な職場環境の形成について、事業者トップが快適職場の所信表明をしている。

転倒防止対策として、工場床面の一部を滑りにくい材質に変更。

腰痛防止対策として、補助器具を導入。

熱中症対策として、ファン付き作業着の導入及び工場内に経口補水液や給茶機の設置。

これらの取組の結果、健康確保（健康保持増進等）に対する安全衛生の水準が優秀であり、他の模範となるものである。

○ 事業場 エア・ウォーター^{かぶしがいしゃ}株式会社 鹿島工場^{かしまこうじょう}

所在地 茨城県鹿嶋市光3

業種 化学工業

[受賞のポイント]

事業場は、鹿嶋市にある事業場の構内にて、高圧ガス製造設備、空気分離装置等を所有する工場を有し、主に鉄の生産に必要な酸素、窒素、アルゴン、水素、炭酸ガスを製造し、供給を行っている。

事業場では、平成7年2月以降、休業災害の発生はなく、28年間無災害を継続している。

設備・作業・化学物質に係るリスクアセスメント実施要領が整備され、適時、リスクアセスメントを行い、積極的なリスク低減対策を実施している。

グループ会社全体で策定された年間の安全衛生基本方針及び労働安全等の重点施策に基づき、本工場に特化した重点取組項目を定め、取組内容及び実施時期を明記した年間の安全衛生活動計画を策定し、計画的に取り組んでいる。

安全週間、労働衛生週間、年末年始等には、勉強会、各種教育、職場巡視、避難訓練等、労働者の安全衛生意識を高揚させる取組を積極的に行っている。

構内に下請企業はないが、修理業者等が立入りする場合には、自社のマニュアルに沿った安全衛生教育を実施し、自社以外の者に対しても安全意識の徹底等に努めている。

これらの取組の結果、安全確保に対する安全衛生の水準が優秀であり、他の模範となるものである。

<団体賞>

○ 団 体 けんせつぎょうろうどうさいがいぼう しきょうかい いばら きけん し ぶ ひたちぶんかい 建設業労働災害防止協会 茨城県支部 日立分会

所在地 茨城県高萩市下手綱1458-4

[受賞のポイント]

団体は、建設業における労働災害の撲滅と疾病の根絶を目的として、日立労働基準監督署の管内において、傘下の会員事業場103社により組織されている。

団体では、毎年度の事業計画を策定し、地区内の同業関連団体とも連携し、自然災害等を想定した防災訓練や、工事現場への年間6回の一般、木建、車両系建設機械の安全パトロールを実施し、労働災害防止への指導、援助に努めている。

現場代理人研修会、安全指導者研修会などの技能向上のための講習会や、足場組立て等作業主任者講習会、フルハーネス型墜落制止用器具の特別教育を実施し、会員だけではなく、管内の建設工事従事者への技能習得にも貢献している。

このほか、会員を対象に、建設業に係る先進事例・好事例の展開や表彰者を紹介した定期刊行誌やポスター、資料等を無料配布することにより、地域の建設事業場の安全衛生活動を支援し、安全衛生に対する意識の高揚を図っており、発足以来、45年間にわたり、地区内において先導的な役割を担い、安全衛生活動を活発に推進している。

これらの取組の結果、団体として地区内の安全衛生活動を活発に推進し、関係事業場の安全衛生水準の向上に顕著な功績があったものである。

<功績賞>

○ 氏 名 さいとう かずえ 齊藤 一恵
現 職 もと いっばんしゃだんほうじん こ がろうどうきじゅんきょうかい かいちょう 元 一般社団法人古河労働基準協会 会長

[受賞のポイント]

受賞者は、平成15年5月から6年間にわたり、一般社団法人古河労働基準協会の副会長、平成21年5月から13年間にわたり、同会長の職を歴任し、同協会の

指導的立場にあつて、地域の安全衛生水準の向上発展に多大な貢献をしている。

<安全衛生推進賞>

○ 氏 名 ほそが い たけお 細貝 健男

現 職 もと いっぱんしゃだんほうじんおお た ろうどう き じゆんきようかい ふくかいちよう 元 一般社団法人太田労働基準協会 副会長

[受賞のポイント]

受賞者は、平成26年4月から9年間にわたり、一般社団法人太田労働基準協会の副会長の職を歴任し、同協会の指導的立場にあつて、会員事業場の対する安全、健康確保事業を積極的に企画運営し、地域の安全衛生水準の向上と労働災害防止に多大な貢献をしている。

○ 氏 名 たかはし きよし 高橋 潔

現 職 い っぱんしゃだんほうじんりゅうがききろうどう き じゆんきようかい あんぜんえいせいすいしん ぶ かい ぶ かいちよう 一般社団法人龍ヶ崎労働基準協会 安全衛生推進部会 部会長

[受賞のポイント]

受賞者は、平成4年6月に一般社団法人龍ヶ崎労働基準協会、プレス災害防止部会の委員（平成20年からは、同安全衛生推進部会となる。）になって以降、平成29年6月から同安全衛生推進部会の副部会長、令和元年6月から同部会長の職を歴任し、同協会の指導的立場にあつて、会員事業場の対する安全、健康確保事業を積極的に企画運営し、地域の安全衛生水準の向上と労働災害防止に多大な貢献をしている。